## 供給設備の技術上の基準

(容器による貯蔵能力が1, 000kg以上3,000kg未満のものに限る)

学校、病院等不特定多数の者が集まる建築物

	①第1種保安距離 (法定 16.97m : 障壁設置 0m) 実際距離 20 m
1 /D /> DC 8/4	保安物件の名称 <b>OO小学校</b> 民家、マンション等住居の用に供するもの
1 保安距離	②第2種保安距離(法定11.31m・障壁設置0m)実際距離 <u>15</u> m
<規則第1条第6号、第7号>       保安物件の名称       〇〇マンション	
	①障壁の構造 <u>材料 <b>鉄筋コンゲート</b></u> 寸法 <u>(高さ) <b>200</b>cm(厚さ)<b>15</b>cm</u>
	②扉の構造 <u>材料 <b>鋼板</b> (厚さ) <b>0.4</b>cm</u>
_2 障 壁	③扉の補強 等辺山形鋼(枠) <u>Omm × Omm</u>
(D) = ++ 2# 0 >	(内) <u><b>Δ</b>mm</u> × <b>Δ</b> mm
<例示基準 2>	間隔 (縦) <u>口cm</u> (横) <u><b>Δ</b>cm</u>
3 火気取扱施設	①火気等の種類 <b>屋外給湯器</b> 火気等との距離 6.5m
との距離	②火気距離が 5 m未満 障壁 <u>(材料)</u> 高さ <u>m</u>
<例示基準 16	
4 滞留防止	①貯蔵設備面積 <u>5.0 ㎡</u> 法定換気口面積 <u>1,500 c ㎡</u>
,	②実際の換気口面積 <u>3,200 c m²</u>
<例示基準 4>	
5 さく、へい等	   さく、へい等の種類 <b>鋼板製容器収納庫</b>
の設置	C ( ) マック ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (
6 警 戒 標	②表示内容 <b>LPガス貯蔵設備</b> 警戒標が写った写真を提出させること
	燃(赤色文字)、火気厳禁(赤色文字)
<例示基準 1>	
	①粉末消火器 <b>B12 X 2個</b>
7 消火設備	(A4、B10以上のもの 貯蔵能力1,000kgにつき1個以上)
<例示基準 5>	②その他
8 軽量な屋根等	①屋根の場合 その材料 <b>繊維強化セメント板</b>
	②遮へい板の場合 その材料 <b>薄鉄板</b>
<例示基準 3>	
9 転倒防止等	   ①貯蔵設備の床は水平で、かつ上から物が落ちる恐れがないようにする。
● かり おり 置	②転倒防止チェーンによる転倒防止措置を講ずる。
''	   ①容器は十分に防錆塗装がされたものを使用する。
10 腐食防止措置 ▼	②貯蔵設備は排水のよい構造とし、容器の底部を乾きやすくする。
<例示基準 15	
\ワッハ坐┼   ∪	